

天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟

編集 / 布教広報委員会

発行所 / 〒311-3506 茨城県行方市八木時 1008 圓勝寺内

印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社

郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第256世天台座主
半田 孝淳 猷下

平成31年
2月28日
発行

index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
沖繩戦争殉難者慰霊行脚	3
タイ・スタディツアー	3



群馬結集	4
東大寺千僧法要	5
全日仏青 仏教音楽祭	5
西日本仏青連絡協議会	6
東日本仏青親睦野球埼玉大会	7

《特集》

天台仏教青年連盟50周年記念シリーズ① 教区仏青50周年事業の記録	8~9
--------------------------------------	-----

2020年 天台仏教青年連盟創立50周年

天台青少年比叡山の集い	10
天台仏教青年中央研修会	11
インフォメーション	12
協賛金協力者御芳名	13~15
常任委員会委員長報告	16



天台仏教青年連盟公式Facebookでは連盟の活動をより多くの方に知っていただけるようにリアルタイムに分かりやすくお伝えしています。皆さまからのフォロー、閲覧どうぞよろしくお願い致します!!



今年度より天台仏教青年連盟公式Instagramを開設致しました。Facebookだけでなく、連盟インスタグラムへのフォロー、閲覧もどうぞよろしくお願い致します!!

情報通信委員会

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。平素より一宗を始め延暦寺一山、全国の天台宗寺院ご住職様、各教区仏青会員の皆様には私ども天台仏教青年連盟の活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。今年度も全国各地で災害に見舞われてしまった年となり

ました。被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。近年の青年会活動を振り返ると、複数教区の仏教青年会が一ヶ所に集まり一緒に行う活動が増えてきました。災害支援活動などは特にその色が顕著に表れています。災害支援活動においては天台宗防災士協議会と連携がとれていることもあり、被災地での支援活動の段取りを防災士協議会が進め、それを全国の青年僧に連盟が呼びかけて参加いただく、この流れがスムーズに出来るようになりました。現在はスマートフォンやSNSなどにより情報の収集発信が容易になったことも要因の一つです。しかしツールの発展だけでなく活動に繋がるものではなく、それ以前に人と人との距離が近く

なっていることが大きな要因であると考えることがあります。前号の挨拶の中で「同じ場所で同じ時間を過ごすこと、一つのものを共同で作りに上げることはより深い繋がりを創ることが出来る」と書かせていただきました。この繋がりを創ることの積み重ねがより良い青年会活動を創っていると想っております。

青年会会員が減少していく中で人と人との繋がりが「パートナリーシップを大事にしてもらいたいと思います。パートナリーシップを大事にすることでお互いを支え合い、助け合い、協働していくことができるはずで

パートナリーシップ

天台仏教青年連盟代表

谷晃仁



す。パートナリーシップを創るのは青年会活動や結集、研修会だけではありません。時には交流会や懇親会、またはプライベート

トの時間で仲間として忌憚ない話をする事で創られることもあります。どのような機会でもかまいませんので、同じ場所で同じ時間を共有し、新たな繋がりを創る場面を増やし、多くのパートナリーシップを組んでいただきたいと思ひます。

合掌



御挨拶

天台宗宗務総長

杜多道雄

新年あけましておめでとうございませす。天台仏教青年連盟会員の皆様方には新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より天台宗の諸行事へのご協力はもとより多方面に亘るご活動に對しまして心より感謝申し上げます。

祖師先徳鑽仰大法会は第二期に入り、七年目を迎えました。記念事業として進めております根本中堂大改修は順調に推移しております。修学ステージより、改めて威容を誇る根本中堂を仰ぎみるとき、先人らによつて護持されてきた総本堂を今度は私たちの手で次代に伝えなければならぬとの想いを強く持つものがあります。引き続き皆様方のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

さて、ここ近年の社会は、新自由主義や自己責任の方向に大きく舵が切られ、利己主義の風潮が強くなりました。国際社会でも新たな分断線が引かれようとし

ており、IT技術の発達、人心への荒廃を加速させているように見受けられます。

こうした閉塞感の蔓延する現代社会にあつて育むべきは「道心」であり、その実践こそが宗祖伝教大師様の「忘己利他」の教えです。そして、その教えを顕現すべく宗を挙げて取り組んでいる運動が一隅を照らす運動であり、発足以来五十年に亘つて生活指針を社会に発信してまいりました。

二年後には伝教大師千二百年大遠忌を迎えますが、さらにお大師様のご精神を宣揚する願つてもない勝縁と存じます。「成仏国土成就衆生」の宗祖大師様のご心願が込められた法の灯を高く掲げてともに新しい年に望みたいと存じます。

結びにあたり、会員の皆様方にとって最良の年となりますよう祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。



御挨拶

延暦寺執行

小堀光實

本年、新天皇陛下が御即位なされ平成元号も改まり日本の新時代が始まろうとしております。

折しも伝教大師一二〇〇年大遠忌を間近に控え、更なる宗祖大師の御心の宣揚と時代に相応しい諸事業の取り組みにあつている処ですが、新しい時代の始まりであるからこそ日本国内のみならず世界に宗祖大師の魅力をしつかり発信してまいりたいものです。

前段長くなりましたが、全国天台仏教青年の皆様には新しい年の日々をご健勝にて諸活動にご精励の事、頼もしくご同慶に絶えませぬ。

前述の宗祖大師を始めとする列祖先徳方を慶祝、鑽仰する節目の法会は終戦後十数年を経ての昭和三十三年（一九五八）天台宗開宗一一五〇年記念の法会に始まり、昭和四十一年（一九六六）伝教大

師御生誕一二〇〇年を慶讃、更には昭和四十六年（一九七二）伝教大師一一五〇年大遠忌等を天台宗挙げて盛儀に執行されました。その間ご高承の通り、傷心に暮れ過す人々への癒しと活気を取り戻すべく社会奉仕への一助として布教師連盟や天台仏教青年連盟の発足。また一隅を照らす運動が始まり、この近年それぞれ活動五十年の節目を迎えた処です。

殊に青年であるが故の若さと行動力に目を見張る天台仏教の皆様には新しい時代を期して愈々のご活躍と発展を願つて止みませぬ。

あとになりましたが、今年度も全国に猛威を振った豪雨や台風は比叡山上も昨年度に続いて倒木ほか、建物に大きな被災を受け、連盟より多額のお見舞金をお寄せいただきました。衷心より厚く御礼を申し上げます。ご挨拶と致します。

第十七回沖繩戦争殉難者慰霊行脚

群馬 仏青 河合 乗信

平成三十年四月二十三日、沖繩念法寺にて本尊阿弥陀如来の御前で沖繩戦争殉難者回向法要を厳修し、翌日二十四日、第十七回となります沖繩戦争殉難者慰霊行脚をさせていただきました。また回向法要の御導師、行脚の先達を北嶺大行満大阿闍梨であります光永圓道師にお勤めいただきました。



一九四五年に太平洋戦争の終戦を迎えてから、七十三年の歳月が流れようとしています。今回、皆様と共に沖繩の地を踏みしめ、二度とこのような戦争が起きないよう祈願し、また慰霊のために回向し行脚させていた



戦争で亡くなられた方々への『追悼の念』、僧侶として行脚してきた事は、祖師大師をはじめとした多くの先徳たちへの『報恩の念』、行脚を案内していただきました念法寺の御住職様をはじめ御随喜頂きました諸大徳様への『感謝の念』、この『三つの念』を大切にし、これからも継承し伝えていきたいと考えております。



タイ・スタディツアーに参加して

栃木 仏青 竹林 俊尋

平成三十年九月三日から八日にかけて、タイのボランティア組織「ドアン・プラティープ財団」が運営するタイ中部スラタニー県にある青少年保護施設「生きなおしの学校・チュンポーン校」において、連盟主催のボランティア活動を十二名、スタッフ二名で参加活動させていただきました。



チュンポーン校での主な活動内容は、農園果実の収穫、アブラヤシ堆肥作業、スポーツ交流、子供達によるイベント、燈籠流し等盛り沢山でした。連盟主催の三ヶ年事業計画と



して今回老朽化している食堂の備品を現地スタッフと協議し、食堂用テーブル六台、イス三十六脚の購入金額を支援金として寄贈致しました。新しいテーブルとイスに子供達も喜んで使っていました。バンコクでは、プラティープ財団訪問、支援金寄贈、スラム視察を行いました。今後も引き続きボランティア活動に参加させて頂き、子供達の笑顔が絶えぬよう活動していきたいと思っております。



法衣・襦袢衣装・仏具荘製品
贈答記念・授与品

株式会社 鈴木法衣店

東京店・埼玉店フリーダイヤル
TEL 0120-55-0369

東京店 〒110-0015
東京都台東区東上野6丁目8番8号
FAX 0120-44-7560

埼玉店 〒345-0047
埼玉県北葛飾郡杉戸町高野東1丁目15-7
FAX 0120-66-5966

ホームページ
<http://www.suzukihuiten.jp>

井 法衣・仏具製造及び販売 簡

代表取締役社長 今岡規代
● 本社
0008488
京都市下京区堀川通
新北屋町角 西本願寺前
TEL 075-965-0001
TEL 0120-075-7300
FAX 075-953-7021

● 東京店
100-0008
東京都新宿区四谷
三栄町十四番地 三三
TEL 03-3358-1500
TEL 03-3359-8902

井筒法衣店

京 都

SINCE 1705

天台宗専門法衣司

山科大西法衣店

〒607-8357
京都市山科区西野植川(0545-21)

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
020 0120-568-024

群馬結集を終えて

天台仏教青年連盟全国大会

群馬結集委員会 事務局長 渡邊 祐晋

秋の気配が感じられ始めた平成三十年十月三日、四日におきまして、天台仏教青年連盟全国大会群馬結集が開催されました。今回は「伝統と継承」祈りと文化」をテーマとし、三日は仏教との関係が深く、天台思想の影響が濃いとされる「能楽」の上演、四日は伝教大師との所縁の深い寺院である、藤岡市の浄法寺での宗祖大師報恩法要を執り行いました。



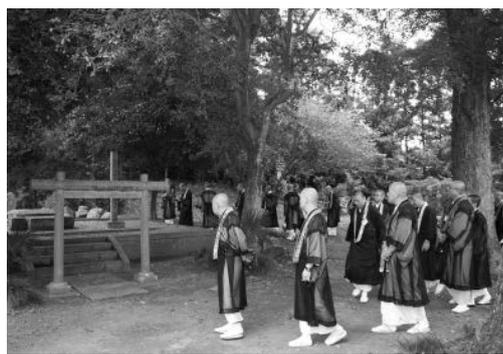
三日の能楽公演では、高崎市文化会館において、青年僧をはじめとする寺院方約二百名に加え、檀信徒の方々にもご案内いたしまして、計六百三十九名の大勢のご参加をいただきました。観世流準職分、下平克宏先生をはじめとする十六名の能楽師による「善界（ぜがい）」を披露していただきました。上演後は下平先生と能楽解説をしていただきました手島仁先生、青年僧との座談会を行いました。仏教と

能楽の歴史的な関係や、仏教の文化的展開、古来の豊かな信仰表現に対する理解についてなど、先生方から大変貴重なご意見を頂戴できました。

四日は、伝教大師東国巡錫の地である藤岡市の浄法寺に場所を変え、宗祖大師報恩法要を執り行いました。浄法寺境内では、伝教大師によって建てられた六所宝塔の一つである相輪様や、大師様が護摩修行を行った跡といわれる石の護摩壇、大師様が独鈷で掘ったと伝わる独鈷水と呼ばれる井戸など随所に伝教大師の足跡が感じられたと思います。



法要では、連盟代表を御導師に、各教区代表者様にも御出仕いただき、法華懺法を厳修致し



ました。そのなかで下平先生による仕舞「砧（きぬた）」をご奉納いただきました。宗祖大師様ゆかりのお寺にて、全国の青年僧による法要を執り行うことができ、大変意義深いものになったと思います。

また、結集にて災害支援活動募金をお願いをさせていただき、総額二十万三千三百六十四円と、ご参加くださった皆様より多大なるご協力を賜りましたことを、あらためて御礼申し上げます。



天台宗本山経典部御用 最高の京仏具

三法堂

京都市中京区三条小橋東入
電話 0476-110553
FAX 0476-110510

天台宗の共済

かけがえのない寺院建物
収容動産を火災や水災等の
様々な災害からお護りする

天台宗災害補償制度

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所

山寺片達
本膳務用
総延宗御

森忠法衣店

五代目 森 忠兵衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

仏法興隆花まつり

千僧法要を終えて

茨城仏青 永田 照心

平成三十年四月二十六日、奈良東大寺において千僧法要が行われ、本年も出仕させていただきました。

千僧法要につきましては、みなさんご存じのこととは思いますが、全日本仏教青年会主催、東大寺様、南都二六会様共催の元、各宗派仏教青年会の参加で「慈悲の行動、世界平和の祈り」の趣旨の下、毎年東大寺にて執り行われております。また、今年も千僧法要が始まって、ちょうど三十周年記念の年とのこと



で、六百名を超える青年僧が出仕いたしました。

昨年の法要はいにくの雨でありましたが、今年も天気にも恵まれて、出発場所から南大門を通り大仏殿までの行列は、厳かな雰囲気です。

法要も厳かに執り行われ、また法要後の大仏殿内参道においての世界平和を祈る大散華の時は、大仏殿の屋根から散華がまかれて、その散華の舞う様子は本当に素晴らしい雰囲気でした。貴重な体験をさせていただきました。

全日本仏教青年会 全国大会

仏教音楽祭に参加して

神奈川仏青 飯沼 康祐

平成三十年十一月十日に、全日本仏教青年会全国大会が、曹洞宗大本山總持寺において開催されました。山内全域で様々な企画が催された中、仏教音楽祭が執り行われ出演いたしました。プロのピアノ、舞、琴、太鼓に加え青年僧による過去例を見ないイベントとなりました。

「流音月聲」をテーマに掲げ、世界平和を祈念し、宗派を超えて様々な祈りの梵音が堂内を荘厳しました。増上寺雅楽会の華麗なる演奏と舞に始まり、豊山太鼓「千響」の流麗かつ勇壮な



響きなど、各宗派ならではの素晴らしい奉演が続きました。

天台としましては、神奈川近隣の仏青十三名が集い、伽陀、十方念仏を中心に艶やかな読経となりました。

最後にはアナウンサー木佐彩子さんの司会のもと、出演団体総出仕による般若心経と花びら舞い散る散華で幻想的なフィナーレとなりました。

宗派を超え、国境を越えたこのような大きな法会に参加できたことを大変嬉しく思いながら、生きている人を救う智慧の結晶である仏の教えの魅力に大きな可能性を感じました。



遠藤新兵衛商店

〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電話 (075) 351-1367
FAX (075) 351-1476

沈香 白檀 各種焼香 本舗
法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

総本山 延暦寺御用達
風間薫芳堂

〒607-8454
京都市山科区扇子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

空風火水地

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 縁木塔婆 プマ札 各種寸あり



塔婆製造販売
(株)協和木工所

東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL. 0425-97-0732
FAX. 0425-97-1816

第四十回 東日本仏青親睦野球 埼玉大会

平成三十年五月十四、十五日、東日本仏青親睦野球埼玉大会がさいたま市の「大宮けんぼグラウンド」で「ラフレさいたま」を会場に開催致しました。

今大会は東日本を中心に、十四教区より参加者約百七十名という盛大な大会となりました。気温三十度に迫る炎天下に負けず、各会場で熱戦が繰り広げられ、兵庫・岡山・東海仏青から成る西日本チームが前大会に続き優勝し、野球大会二連覇を達



成されました。その後、会場を移して行われた懇親会では表彰式が行われ、上位チームに優勝旗やトロフィーなどが授与されました。

当会は、開催教区仏青として木本実行委員長の下、一年間かけて準備を進めて参りました。主催する難しさを感じる事もありませんでしたが、総じて楽しみながら企画・運営をすることができ

埼玉仏青 永橋 文教

ました。また、パンフレットの裏表紙には「いざ茨城へ！」と記載させて頂きました。この大変歴史のある大会を神奈川仏青様より引き継ぎ、次回開催の茨城仏青様にお渡しする事が出来た事にとても安堵しております。今から茨城県産の名産品を下调べしながら、一年後を楽しみに過ごしたいと思えます。

この度は、ご法務ご多忙の中多くの皆様にご参加頂き、誠に有難うございました。



東日本仏青親睦 野球大会を終えて

東海仏青 村上 圓学

私は今回初めて、野球大会に参加させて頂きました。兵庫教区、岡山教区連合チームであるボンサーズに御一緒させて頂きまして優勝という最高の形で、終わる事が出来ました。

スポーツというものは、不思議と直ぐに親睦が深まるもので、どの教区も愉しげにされていて又、手を抜かず、真剣に取り組んでいる姿勢は感銘を受けるものでありました。野球の試合の中においても、厳しい修行をされた僧侶の方々のメンタルは強靱なもので計り知れないものでありました。

今回、初参加にも関わらず、大変有意義な時間を過ごさせて頂いたことを、御準備下さった埼玉教区の皆様に心より感謝を申し上げます。今後とも是非、参加させて頂きたいと思えます。野球以外にもスポーツ好きな方は多いと思えますので、様々な企画を楽しみにしております。

大変お世話になりました。有難うございました。

お香  みつり花

☎ 520 - 0524
滋賀県大津市和邇今宿 384 - 3
電話 077 - 594 - 1845
FAX 077 - 594 - 2151

 誠実と真心で奉仕する 

御守・授与品・参拝記念品奉製
天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

 グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷
ふくさ・進物品・お誂え全般 卸

有限会社 ヤマゼン

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町3-1-15
ユーアイビルディング6F

TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552

教区仏青50周年事業の記録

実施教区仏青

栃木仏青

事業報告

事務局長

村田 詔田

栃木県天台仏教青年会は、平成三十年四月六日をもちまして発足五十周年の大きな節目を迎えました。これを記念と致しまして五月二十四日、日光山輪王寺護摩堂におきまして四箇法要・護摩供と記念式典および祝賀会を執り行いました。

当日は、全国の仏青会長・事務局長他、教区宗務所長を始め多くの諸大徳の出席を頂き無事円成することができました。厚く御礼申し上げます。
当会は小さな所帯ではありますが、創立から五十年という長きに亘って受け継いだ伝統と理念を根幹とし、今後も当会の精神である「研鑽と交流」の精神を第一義として、現代における青年僧の在り方を模索し、考え、行動していく決意を新たにいたしました。



平成26年

茨城天台仏教青年会



平成26年

天台宗近畿教区青年会

今までに50周年を迎えた教区仏青

特集

天台仏教青年連盟50周年記念シリーズ①

福島仏青

平成30年度



事業報告

事務局長

矢島 義浩

天台仏青福島では、平成三十年十月二十七日に創立五十周年を迎えました。発足より半世紀という大きな節目を迎えるにあたり、平成二十九年度から平成三十一年度を記念事業の実施期間とし、平成三十年十月三十一日には発会された郡山市西方寺を会場として、宗祖傳教大師鑽仰・福島教区歴代住職報恩法要を厳修し、法要終了後には、ホテルハマツにて記念式典と祝賀会を開催しました。

記念法要、記念式典には、宗機顧問西郊良光様、社会部長林光俊様、宗務所長横山大哲様をはじめとする福島教区諸大徳様、天台仏青連盟役員様、各教区仏青の皆様等、大勢の方々が出席しました。

また、事業の一環として作成された、天台仏青福島の先輩方が作成した『略祈禱作法集』の改訂版と五十年の歩みが取められた記念誌が、出席者へ配られました。

今後は記念旅行等の事業を開催する予定です。

平成30年

栃木県天台仏教青年会
天台宗佛教青年会福島



平成29年

九州仏教青年会



平成29年

東京天台仏教青年会



天台仏教青年連盟は2020年に50周年を迎えます

第五十三回 天台青少年比叡山の集い開催

実行委員長 中里 正敬

天台宗では青少年の育成教化活動の一環として、天台宗と比叡山延暦寺の共催の下、毎年比叡山を会場に、中学生及び小学六年生を対象に「天台青少年比叡山の集い」を開催しております。『規律と合掌』をテーマに、発心会・諸堂巡拝・世界平和の祈りへの参加・営火(キャンプファイヤー)といった行事を中



心に研修を行い、全国から集まった同年代の仲間たちと共に、生きる喜び、あらゆるものに生かされていることへの感謝、そして社会に奉仕することの大切さを学び、伝教大師の「一隅を照らす」精神を実践する人が、一人でも多く生まれることを願うものです。

五十三回を数える今回の参加研修生の総数は百六十七名でした。非常に暑い気候の中での開催となりました。諸堂巡拝のコースの変更、水分補給がこまめ



にできるようにし、冷却剤、塩飴等で例年以上の熱中症の対策をしました。幸いにも大きく体調崩す研修生はおらず、無事に研修を終えることができました。

また新たな試みとして特別研修生制度を導入し十一名が参加しました。これは研修生として参加経験のある高校生を特別研修生として募り、高校生という立場での新しい視点からの研修への参加を期待したものです。特別研修生たちは自身の研修にも向き合いつつ、年の近いお兄さんお姉さんとして、中学生小学生が積極的に研修に参加でき

る雰囲気づくりをリーダーとともに作り上げてくれました。この経験が彼ら自身の糧となり、天台宗、比叡山へのご縁がさらに深まるよう期待致します。

半世紀を超え毎年研修を行いますのも、スタッフであるリーダー募集の段階からお力添えをいただきました各教区、仏青、関係各所のご理解ご協力の賜物です。ご推薦いただいたリーダーたちもそのサポートにより力を十分発揮できましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも天台青少年比叡山の集いを宜しくお願い致します。



<p>各宗総本山御用達</p> <h2>お香 紫雲堂</h2> <p>(有)クスモトコーポレーション</p> <p>事務所 徳島県徳島市昭和町5丁目18番6号105 ショールーム 徳島県徳島市両国橋25番地 〒770-0942 TEL 088-622-4015 FAX 088-652-1327</p>	<p>文化財修復・社寺建築</p> <h2>園 木澤工務店</h2> <p>本社 〒606-8414 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1 TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430 営業所 〒529-1314 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地 TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727</p>	<p>社寺建築設計施工</p> <p>株式会社 大幸社寺工務店</p>  <p>埼玉営業所 埼玉県川口市東本郷1-9-4 電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063 本社 東京都足立区橋2-22-4 電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077</p>
---	---	---

平成三十年度 天台仏教青年中央研修会

天台宗務庁 社会部社会課 課長 高見 昌良

総本堂国宝根本中堂の改修工事が本格的に着工され二年が経過いたしました。天台宗全寺院、檀信徒、有縁の方々より物心両面にわたり篤く支援をいただきながら進められていくこの大事業ですが、実際に改修工事が行われている現場において、担当者から工事概要について説明を受ける機会はなかなかありませんでした。

そこで、平成三十年度の中央研修会では、改修事業を担当される滋賀県教育委員会文化財保護課建造物係主査尾山義高



氏を講師に迎え、延暦寺会館において事業概要の説明をいただくとともに、その後延暦寺から特別の許可をいただき、工事現場の内部、改修の進む中堂のまさにその現場で説明を受けました。

総本堂の改修は昭和三十年「昭和の大改修」以来六十年ぶりの大事業であります。この機会に、参加した仏青会員がより総本堂に対する理解が深められることを目的として今回の研修会を催行いたしました。



通常の参拝では間近に見ることのできない屋根銅板の大きさ、廻廊とちぎきの分厚さ、蛙股装飾の精密さに驚かれた事と思います。一生の印象に残る研修になったのであれば幸いです。



天台仏教青年中央研修会に参加して

山形仏青 大江 光洋

平成三十年度天台仏教青年中央研修会が、十一月十二日から二日間の日程で延暦寺において開催されました。全国各仏青から三十一名が参加しました。

一日目、林光俊社会部長を導師に、小堀光實延暦寺執行ご臨席のもと開講式が行われました。講演では、滋賀県教育委員会文化財保護課の尾山義高氏から「根本中堂大改修の概要について」と題し、根本中堂の歴史、破損状況、修理内容などのお話をお聞きしました。その後、普段立ち入ることができない改修現場へ移動し、根本中堂及び回廊屋根の著しい破損、外部塗装の退色・剥落を間近で目にすることができました。夕食後には『妙法蓮華経』の写経を行いました。

二日目は、根本中堂での朝事、浄土院参拝の後、国宝殿で開催されている「比叡山至宝展」を見学し、国宝『天台法華宗年分縁起』（伝教大師筆）をはじめ、初公開を含む数多くの貴重な仏様等を拝観できました。閉講式では、林光俊天台宗社会部長から修了証が手渡され、全ての日程が終了しました。

「明らかく、後の仏の御世までも光りつたへよ、法のともしび」伝教大師から受け継がれてきた今日までの千二百年余りの歴史に思いを馳せる研修となりました。

尾張密蔵院 葉上流傳法灌頂

教授阿闍梨 田村圓心

2019年6月18日から22日 履修定員 40名

【申込金】3万円

※1 申込金は冥加料に繰り入れます。辞退の場合は返金いたします。

【冥加料】入壇灌頂 14万円
開壇傳法 16万円

※2 入壇灌頂と開壇傳法は同時に受けることも可能です。

詳細は

龍徳寺 安藤 雅仁 TEL 090-8964-2029 / ganin@outlook.jp まで



THE WESTIN MIYAKO KYOTO

〒605-0052 京都市東山区粟田口草野町1(三条ヶあけ) Tel.075-771-7111 www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto

全国大会「岡山結集」のご案内

2019年10月9日(水)～10日(木)
9日(水) / 岡山国際ホテル・10日(木) / 常住寺

テーマ：和 ～共に唱う世界平和～

講師：黒住 宗道 師(黒住教教主)
横山 照泰 師(比叡山延暦寺護心院住職)

新元号元年という大きな節目の年に『岡山結集』を上記の内容で開催いたします。

第1日目には、テーマである『和～共に唱う世界平和～』に因み、黒住教教主である黒住宗道師より基調講演をいただき、その後、岡山県を拠点として各地で活動をしている人道援助宗教NGOネットワーク(RNN)の方々とともに、宗教・宗派を超えて世界平和を祈る『ヒーリングコンサート』という場を設けます。そして最後に、世界宗教サミットにご尽力された葉上照澄師の遺弟である横山照泰師よりお話をいただきます。

第2日目には、葉上照澄師が住職を勤めておられた常住寺に於いて参加者皆様のご随喜のもと、世界平和祈念法要を執り行います。

いまこの時代だからこそ、葉上照澄師の目指された宗教を超えた取り組みに今一度目を向け心に向け、それぞれの『祈り』に対する理念や取り組みについて相互に理解を深め学ぶ契機となるよう企画しております。多数のご参加をお待ちしております。

〈岡山天台仏教青年会・岡山結集実行委員会〉

第41回 東日本仏青親睦野球 茨城大会のお知らせ

【大会日程】
2019年5月14日(火)～15日(水)
〈1泊2日〉
※14日懇親会、15日野球大会を開催いたします。

【大会会場】
水戸市総合運動公園(水戸市見川町2256)

【懇親・宿泊会場】
ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸
(水戸市大工町1-2-1)
※参加人数により他のホテルをご案内させていただきます場合がございます。

★今大会は、初日に懇親会、翌日に野球大会を開催いたします。
2日に分けることにより、初日に各会員様と懇親を深めていただき、翌日のパフォーマンスに繋げていただけたらと考えております。
会員一同、全力で準備を進めてまいりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ】 茨城天台仏教青年会事務局

天台仏教青年連盟HPのご案内

https://www.t-y-b-a.com/
または『天台仏教青年連盟』で検索

連盟公式ホームページでは今回『頒布品』のページに栃木仏青が創立50周年を記念して発行した『四箇法要音用』経本を追加し、会報『天台佛青連』のページでは最新号はもちろん、平成19年、20年のバックナンバーも閲覧いただけるようになりました。

今後も内容をより充実させていきますので何とぞ宜しくお願い致します。

〈情報通信委員会〉



頒布品のご案内

●栃木県天台仏教青年会創立50周年記念「四箇法要音用」

「四箇法要音用」経本 申込書.pdf
PDFファイル 271.6 KB
ダウンロード

●「四箇法要音用」経本 申込書として
「四箇法要音用」経本を作成致しました。各巻の音用を同綴にて表記いたします。つきましては全国仏青は勿論、各寺院にて取り行われる法要などにて発祥ご活用ください。

内容
始録 歌 梵音 三條綴杖
価格 2000円
送料 5冊まで500円/以上一律1000円
所定の用紙(上記のPDFファイル)にてFaxでお申込みください

平成30年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- 大阪北部地震義援金…………… 151,081円
- 西日本豪雨災害義援金…………… 2,300,000円
岡山教区50万円・四国教区50万円・
日本赤十字社130万円
- 北海道地震災害義援金…………… 507,820円
- 台風21号災害義援金…………… 500,000円
- 連盟活動支援金…………… 329,124円
- 支援団体募金…………… 350,000円
天台宗防災士協議会…………… 100,000円
PMJパンニャメッタ…………… 100,000円
タイ プラティープ財団…………… 100,000円
一隅を照らす運動総本部…………… 50,000円

合計…………… 4,138,025円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします
今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします

〈救援委員会〉

※上記の支援金・募金は平成31年1月1日現在です。

天台仏教青年連盟

協賛金協力者御芳名 (敬称略)

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



<p>延暦寺執行 小堀光實</p>		<p>一隅を照らす運動総本部長 森定 慈仁</p>		<p>社会部長 林 光俊</p>		<p>教学部長 森田 源真</p>		<p>財務部長 甘井 亮淳</p>		<p>法人部長 浅野 玄航</p>		<p>総務部長 寺本 亮洞</p>		<p>天台宗宗務総長 杜多 道雄</p>		<p>天台宗務庁</p>	
<p>兵庫教区 八葉寺 國岡惠心</p>		<p>近畿教区 本山寺 百濟寂仁</p>		<p>京都教区 護浄院 松景崇誓</p>		<p>滋賀教区 眞迎寺 辻井芳道</p>		<p>延暦寺一山 止観院 小林祖承</p>		<p>宗議会議員 (寺籍簿順)</p>							
<p>信越教区 光前寺 吉澤道人</p>		<p>北陸教区 翠雲寺 岩尾照尚</p>		<p>東海教区 延命寺 村上圓竜</p>		<p>三岐教区 佛眼院 佐後映雄</p>		<p>四国教区 大通寺 大西栄光</p>		<p>岡山教区 千光寺 葉上観行</p>							
<p>群馬教区 常圓寺 綾小路乗俊</p>		<p>埼玉教区 福正寺 大澤貫秀</p>		<p>南総教区 観明寺 細野舜海</p>		<p>北総教区 東榮寺 玉田法信</p>		<p>東京教区 深大寺 張堂完俊</p>		<p>神奈川教区 遍照寺 坂本圭司</p>							

<p>島津玄真</p> <p>山形教区 金剛樹院</p>	<p>鮎貝宗城</p> <p>陸奥教区 観音寺</p>	<p>中村周常</p> <p>福島教区 永藏寺</p>	<p>鈴木常元</p> <p>栃木教区 實教院</p>	<p>船戸俊宏</p> <p>茨城教区 如意輪寺</p>	<p>原徳明</p> <p>群馬教区 満勝寺</p>
<p>嘉瀬慶文</p> <p>九州西教区 妙覺寺</p>	<p>木村俊雅</p> <p>四国教区 長尾寺</p>	<p>永宗幸信</p> <p>岡山教区 本性院</p>	<p>荒樋勝善</p> <p>兵庫教区 白毫寺</p>	<p>山岡智恢</p> <p>滋賀教区 石垣坊</p>	<p>教区宗務所長 (寺籍簿順)</p>
<p>木本清玄</p> <p>埼玉教区 福正寺</p>	<p>高橋隆叡</p> <p>南総教区 能満寺</p>	<p>榎本昇道</p> <p>神奈川教区 寶塔寺</p>	<p>松浪圓應</p> <p>北陸教区 國分寺</p>	<p>柴田真成</p> <p>東海教区 高田寺</p>	<p>森喜良</p> <p>三岐教区 常住寺</p>
<p>久野良廣</p> <p>近畿教区 月照寺</p>	<p>宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方</p>	<p>千葉亮賢</p> <p>陸奥教区 満福寺</p>	<p>横山大哲</p> <p>福島教区 西藏寺</p>	<p>中村純亮</p> <p>茨城教区 薬王院</p>	<p>三浦祐俊</p> <p>群馬教区 長福寺</p>
<p>市原孝信</p> <p>東京教区 龍眼寺</p>	<p>京戸慈仁</p> <p>東京教区 西光寺</p>	<p>西郊良光</p> <p>神奈川教区 圓満寺</p>	<p>角本尚雄</p> <p>九州西教区 長壽寺</p>	<p>秦順照</p> <p>九州東教区 臨濟寺</p>	<p>米田良範</p> <p>山陰教区 輪光院</p>

南総教区 笠森寺 小川長圓	北総教区 證明寺 郡司弘道	北総教区 泉養寺 菊池暁昇	東京教区 徳藏寺 加藤邦宣	東京教区 観音寺 本多賢眞	東京教区 天王寺 末廣照純	
茨城教区 如意輪寺 寺門俊明	茨城教区 月山寺 光榮純貴	群馬教区 西光寺 谷晃昭	埼玉教区 長福寺 岩本教裕	南総教区 観音教寺 河合祖信	南総教区 眞光寺 小林祐眞	
陸奥教区 法泉寺	埼玉教区 圓能寺	埼玉教区 寶蔵院	九州西教区 成就院	陸奥教区 西光寺 太田義明	陸奥教区 東雲寺 山田清隆	
担当役員 松村宗宣 瀧川真澄 小林玄超 荻原観宏 関秀圓 小林徹彦 山石亮秀 鷹羽圓裕	委員 長 鷹羽圓裕	副委員 長 山石亮秀	布教広報委員会	事務局長次長・庶務 鷲岡嶺照 事務局次長・会計 太田義法 事務局次長・渉外 二見亮覚 事務局次長 渡邊惠淳 会計監査 清水谷善誠 東伏見光晋	代表表 谷晃仁 副代表表 西郊良貴 副代表表 松村宗宣 事務局次長 益子亮陽	天台仏教青年連盟

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。平成31年2月1日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

広告を掲載しませんか？

『天台佛青連』は年に1回天台宗の全寺院に向けて発行される青年会の機関誌です。

御寺院様の行事のPRや告知、求人募集などにお役立てください。



天台仏教青年連盟



— 担当 —
本山・滋賀・京都
岡山・九州東・群馬

結集研修委員会

委員長(九州東) 永井 義寛

結集研修委員会では例年通り結集・中央研修への取り組み方や問題点について協議を行っておりま

す。昨年、十月三日〜四日の日程で天台仏教青年連盟全国大会『群馬結集』を群馬県高崎市文化会館で開催致しました。開催に当たっては、当該教区の群馬天台青年会の皆さんと結集研修委員会、連盟役員の協力で一般檀信徒を含む六百三十九名の大変多くの皆様に御参加頂きました。

初日には、能楽師の下平克宏氏主演の能『善界』の御公演と座談会が開催され伝統を受け継ぐ能楽師と僧侶の貴重な意見交換の場となりました。

二日目の移動研修では、伝教大師と御縁の深い浄法寺で法華懺法の法要と、下平克宏氏の舞いの奉納が厳修され、終わって六所宝塔など境内を地元仏青の皆さんに案内頂きました。無事に結集を終える事が出来ました事を委員会として厚く御礼を申し上げます。

また来年度は、岡山教区での開催となります。多くの御参加と御協力をお願い申し上げます。



— 担当 —
神奈川・南総・埼玉
栃木・福島・北海道

救援委員会

委員長(福島) 高宮 良道

救援委員会は、平時の地球救援募金活動や各種支援団体への支援実施、災害発災時の被災地への義援金・支援金送付、各教区仏青への勸募協力依頼、天台宗防災士協議会と連携した現地支援活動、以上を主な職務としております。

本年度、平時には特に委員会活動内規の整備や義援金・支援金振込に関する文書整備に注力した他、災害支援活動としては、西日本豪雨災害被災地支援物資の募集とマッチング作業の実施、各種災害義援金・支援金送付、発災から一年を経過する九州北部豪雨災害に対する合同ボランティアを実施致しました。今後も委員会は効果的な活動が出来るよう努めて参ります。

最後に、各教区仏青の皆様にご協力を頂いた浄財による被災地支援、現地での復興支援活動に対し感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。



— 担当 —
山陰・九州西・三岐・東京
北総・陸奥・山形

情報通信委員会

委員長(三岐) 久保寺 福美

当委員会では連盟ホームページやフェイスブックの管理運営を行っております。今年度はそれらに加えて世界中で最も活用されているインスタグラムを開設致しましたが、運用開始からまだ一年足らずですが、反響の大きさに委員一同驚いており、特に海外の方からの反応や閲覧が多く、この点においてフェイスブックとはまた違った方面へのアプローチが可能となりました。

また連盟の公式ホームページでは今回栃木仏青が創立五十周年を記念して制作した「四箇法要音用」経本を「頒布品のページで紹介させて頂いたいただき、会報『天台佛青連』のページでは最新号は元より、今から約十年前の平成十九年、二十年のバックナンバーも閲覧いただけるように致しました。

今後も宗外は元より、宗内や仏青内で共有すべきことはどんどん発信していきたいと思っております。

最後にこの二年間何かと至らぬ点があったかと思いますが、皆様方からの多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。



— 担当 —
近畿・兵庫・四国・東海
北陸・信越・茨城

布教広報委員会

委員長(東海) 鷹羽 圓裕

当委員会では本誌の編集作業を行ってきました。ご寄稿頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

天台仏教青年連盟は来年に五十年を迎えますが、多くの教区仏青においても近年中に五十周年が当たっており、既に記念事業を執り行った仏青があります。そこで特集として、各教区仏青の五十年事業をまとめました。各々の仏青活動が広く知られる一助となれば幸いです。

また、会報誌の電子化が議題に上がっております。電子版には多くの利点がありますが、従来の紙版も変わらず重要であると捉えております。現代のIT化に対応しながら、両方の良さが発揮できることが望ましく、より多くの方に、より良い形にてご覧頂けるよう検討を継続致します。そして今後は、情報通信委員会との連携をさらに重視して参ります。

引き続き皆様方にはご理解ご協力の程、宜しく御礼申し上げます。

編集後記

平成も愈々終わりを告げ、間もなく新元号の発表が行われます。望むことは未来へ向けて穏やかに過せ助け合いの心を感じる、そのような元号になればと期待をしています。

余談ですが、M||明治T||大正S||昭和H||平成と表記します。これに被ることのない記号で表そうです。

一方、我々天台仏青連盟は間もなく発足五十周年を迎えます。発足当初の方々の想いを繋ぎ多くの会員の方々の協力により現在に至ります。これまで多くの行事等を若手僧侶の力を借り勤めて参りました。ご指導いただきました多くの先輩、会員の方々には心より御礼申し上げます。

連盟会報誌についても、より多くの皆様の目に留まるよう内容など構成を行っております。今後の宗教活動の一考になることが出来れば幸いです。

現在、各教区仏青についても少子化の影響が始め会員数の減少が目立つように感じます。今後の将来をしっかりと見据えた活動が必要なのではないかと感じています。

何より天台宗僧侶の一員として活躍されている皆様ばかりです。今後も連盟へのご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成最後の期間です。多くの事にチャレンジし実りあるスタートが切れますようにお祈り申し上げます。

布教広報副委員長 山石 亮秀